

【オリコンサルHD 受注残 1538億に 売上、利益とも過去最高更新】

オリコンサルHD 受注残1538億に 売上、利益とも過去最高更新

オリエンタルコンサルタンツホールディングスの連結受注残高が確実に増加している。2021年9月期第2四半期では前期比2・1%増の

1538億4100万円まで積み上がり、過去最高を更新した。26日に開いた今第2四半期決算説明会で野崎秀則社長は、「国内市場は国土強靱

化5か年加速化対策が予算化され、海外市場も発展途上国でのインフラ整備の需要は依然旺盛であり、国内外とも当面良好な受注環境が継続することが見込まれる」とし、売上高、各利益とも過去最高の更新を見込む通期業績の目標達成に自信を寄せた。

上期の連結受注高を国内外市場別にみると、国内は防災・減災関連のハード・ソフト対策業務、道路・河川・港湾などの維持管理業務の受注が堅調に推移し、14・1%増の211億4900万円、海外は前期に過去最高の超大型案件（約350億円）を受注した反動もあり、61・3%減の163億4000万円、合計では38・3%減の374億8800万円となった。

今期は国内外あわせて102件以上の重点化プロジェクトを実施中。特に海外市場での競争力強化に向けた重点化事業では、ラオスやベトナムでスマートシティー開発関連業務を受注したほか、フィリピンの鉄道事業で全路線へのBIM導入実施など着実に成果を上げている。

上期の連結売上高は7・7%増の324億5900万円、営業利益が23・4%増の21億1200万円、経常利益が38・6%増の23億4500万円、純利益は40・7%増の15億7700万円と、いずれも過去最高を更新した。通期も当初の計画どおり、売上高、各利益ともに過去最高の更新を見込んでいる。